砂防主要事業の概要

八幡平山系直轄砂防事業は、火山地域特有の脆弱な地質等に起因する降灰地からの土砂流出等による被害を軽減するため、砂防施設の整備等を行っています。

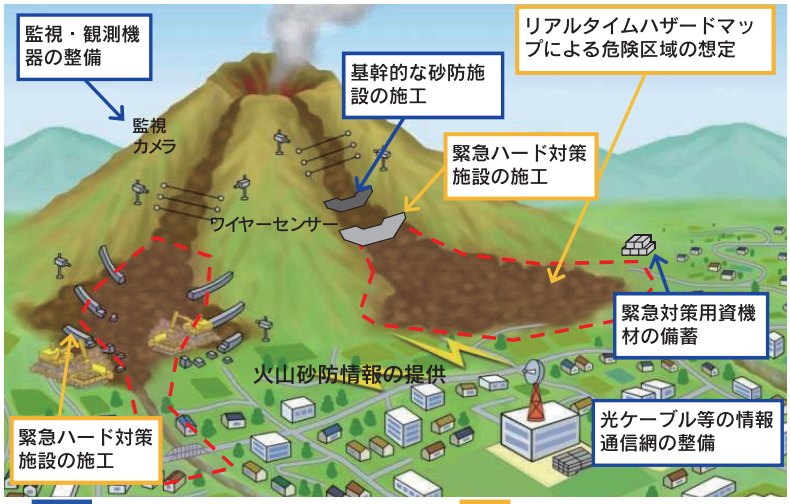
中でも、活火山でもある秋田駒ケ岳の火山活動は、明治23年、昭和7年、近年では昭和45年に噴火活動を記録するなど、概ね40年周期で噴火を繰り返しています。

現在は、火山活動に活発化の兆候は認められていませんが、秋田駒ケ岳の女岳において平成21年以降地熱地域が拡大していることから、秋田駒ケ岳が噴火した場合を想定し、降灰後の降雨に起因する土石流の被害を軽減するため、砂防堰堤（えんてい）の整備を重点的に実施しています。

緊急減災対策砂防計画

火山噴火緊急減災対策砂防計画とは、火山噴火時に発生が想定される溶岩流、火山泥流、土石流等の土砂災害による被害を軽減するため、地方整備局及び都道府県の砂防部局が策定するハード・ソフト対策からなる火山噴火時の緊急対応を定める計画です。

秋田駒ヶ岳（女岳）昭和45年噴火口



火山噴火緊急減災対策砂防（イメージ）

火山防災マップ

秋田駒ケ岳火山防災マップは、過去の火山活動や、もし噴火した場合に想定される火山災害避難場所などを地域のみなさんに知っていただくために作成したものです。

想定している被害予想区域は、過去約2,000年間の最大規模を参考に、今後も起こる可能性がある溶岩流、火砕流、火山灰や噴石、土石流等による被害を想定しています。

このマップは、学識者、関係行政機関による「秋田駒ケ岳火山防災検討委員会」を組織し記載内容について検討を行い、平成15年3月に旧田沢湖町、雫石町から公表及び地域の皆さんに配布されています。（平成25年3月に最新版を作成）。

砂防堰堤（えんてい）の働き（透過型砂防堰堤が土石流をとらえる働き）

①川（渓流）ではいつも、水と一緒に土砂も流れています。

②透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます

③大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。

④堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。

赤倉沢第1砂防堰堤(R7以降完成予定)
R5実施予定:工事用道路
完成イメージ
赤倉沢第3砂防堰堤
R5実施予定:用地
片倉沢第2砂防堰堤(R7以降完成予定)
R5実施予定:工事用道路・砂防堰堤工
完成イメージ
水沢第1砂防堰堤
R5実施予定:用地
北桧木内川第2砂防堰堤(R6以降完成予定)
R5実施予定:砂防堰堤工
施工中
水沢第2砂防堰堤(R4以降完成予定)
R4実施内容:砂防堰堤工
施工中
玉川
湯渕沢
宝仙湖
小和瀬川
東ノ沢又
大深岳
曲崎山
玉川ダム
341
玉川
秋扇湖
鎧畑ダム
田沢湖
乳頭温泉郷
乳頭山
雫石町
先達川第3砂防堰堤
蟹沢第1砂防堰堤
先達川第5砂防堰堤
先達川第2砂防堰堤
片倉沢
第1砂防堰堤
赤倉沢第2砂防堰堤
蟹沢
田沢沢川
砂防堰堤
前郷沢川
砂防堰堤
前郷沢川
先達川第1砂防堰堤
杉沢川
先達川
小先達川第1砂防堰堤
サボーカルチャーパーク
仙北市
水沢
水沢第3砂防堰堤
供養佛沢砂防堰堤
大和田沢砂防堰堤
大和田沢
小先達川
秋田駒ヶ岳
北桧木内川
第1砂防堰堤
北桧木内川
黒沢川
黒沢川第1砂防堰堤
堀木沢
六枚沢川第2砂防堰堤
たざわこ
生保内川
第2砂防堰堤
大平沢川
生保内川
生保内川遊砂地
(大暗渠砂防堰堤)
生保内川
第1砂防堰堤
生保内川遊砂地
(床固)
シトナイ沢川
生保内川
さしまき
46
46
N
凡例
：砂防堰堤(完成)
：砂防堰堤(事業実施中)